



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和3年9月2日(木)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

甲子園で選手宣誓「私たちはくじけない」小松大谷主将

選手宣誓全文

宣誓。2年ぶりの夏の甲子園。世界に広がる困難な波に普段の生活すらできなくなった人が多くいます。

私たちが学校生活、部活動が2年前とは全く違ったものになりました。1年前、甲子園という夢がなくなり、泣き崩れる先輩たちの姿がありました。しかし、私たちはくじけませんでした。

『思いを形に』その言葉を胸に、自分の目指すべき道を定め、友の笑顔に励まされ、家族の深い愛情に包まれ、世界のアスリートから刺激を受け、一步一步、歩んできました。

人々に夢を追いかけることの素晴らしさを思い出してもらうために、気力、体力を尽くしたプレーで、この夢の甲子園で高校球児の真(まこと)の姿を見せることを誓います。

2021年8月10日 選手代表 小松大谷高等学校野球部主将 木下仁緒

私たち高校球児は夢の舞台・甲子園に立つことを目指し、仲間とともに励まし合いながら心技体を鍛えてきました。新型コロナウイルスとの戦いや度重なる大規模な豪雨災害の中を復旧・復興など厳しく不安な状況下で生活している方もたくさんおられます。そのような社会不安がある中で都道府県の独自大会、そして、この2020年甲子園高校野球交流試合を開催していただけることによって再び希望を見出し、諦めずここまで来ることが出来ました。

1人1人の努力が皆を救い、地域を救い、新しい色を作ります。創造、挑戦、感動。今、私たちにできることは1球を直向きに追いかける全カプレーです。交流試合の開催や日々懸命に命、生活を支えてくださっている皆様への感謝の気持ちを持ち、被災された方々をはじめ多くの皆様に明日への勇気と活力を与えられるよう、選ばれたチームとしての責任を胸に、最後まで戦い抜くことをここに誓います。

2020年8月10日 選手代表 大分商業高等学校 野球部主将 川瀬 堅斗
花咲徳栄高等学校 野球部主将 井上 朋也

なぜ智辯和歌山ナインは「No.1ポーズ」をしなかった？指揮官は選手をリスペクト